

みなさんと京大とぼく

青谷正妥（京都大学国際交流センター助教授：1978年理学部卒）

1978年に理学部化学専攻を卒業、メリーランド大学で化学、プリンストン大学で化学と物理学、ニューヨーク市立大学で物理学と数学を学び、博士号はカリフォルニア大学バークレー校の数学でしたが、最近は英語教育でも活躍しています。社会人大学院生として、英語教育で二つ目の博士号を取ろうとしているところです。変な経歴の人は京大にはいっぱい居ますが、ぼくは特に変です。エラがちょっと張っているので「Tsune（日本代表キャプテン：宮本恒靖）にメガネをかけさせて、老けさせて、顔を一億倍ダメにした感じ」と有り難いコメントを頂いた事もあります。因みにぼくは京大の女子学生が選ぶ「寝癖がカワイイ男の子」第9位です。

さて.....

まじめな話題に移って、講演では

- 京大がぼくに教えたもの
- 京大でぼくが教えること
- 皆さんが京大から期待できること
- 京大が皆さんに期待すること
- 国際性と英語（国際交流センター勤務ですから）

などについてお話しします。ネタも無いとつまらないので、本番ではこんなネタも入っています。（カモシレマセン）

1. タイタニック号に乗っていた東大と京大と阪大の先生が....
2. 東大と京大と阪大の先生が誕生日に....
3. 京大生は小学生の時に出来たが、有名私学の学生は未だにできないアレ
4. 青谷は神か？
5. 京大のネアンデルタール人
6. まちがっていませんか？あなたの恋愛

マスコミの話

アヤパンとナカミーの携帯番号をもらった話は又の機会にやるとして....

アメリカから帰りたてで今よりは時間も有り、変な京大教員として時折テレビやラジオに出ていた頃の話です。多くの国立大学（当時）では広報課の許可を得なければ学内での取材は出来なかったそうです。「委員会にかけますので、お

待ち下さい」という対応も多く、1ヶ月待ちも珍しくなかったのです。でも京都大学の広報だけは「青谷先生がOKなら何のためにかけてこられたのですか（忙しいのに余計な電話をかけるな。本人が良かったら取材はOKに決まってる）だったそうです。

外交官の話

外交官になるには国家公務員試験に合格しなければならないのですが、これは大卒でなくても受験できます。三回生で合格した人がそのまま入省した場合、東大では「在学継続は認めておりません」との事で、大学中退での就職になるそうです。それを知っていた京大生（実は編入試験を受けて東大から転学という変人）が恐る恐る事務に問い合わせると「来年は仕事と両立だからがんばってね！」（つまり卒業まで継続在学は当然）とエールを送られたそうです。

警備員が

ぼくは夜中の12時を過ぎてから時には2,3時間も散歩をします。昼間はそんなに長く研究室を留守に出来ないからです。川向こうの同志社大学方面にもよく行くのですが、構内に入れた事はありません。午後10時半以後は同志社大学の生徒でも門衛所にあらかじめ登録していなければ入れないからです。一晩中付近の住民が犬の散歩で入って来たり、スケボー少年が来たりする正門全開の京大とはえらい違いです。因みに同志社の真向かいにある御所の門も一晩中全開です。「いつ天皇が（東京から）帰って来ても良いように」と聞いた事があります。

自由の学風と自己責任

これらの例からも分かるように、京都大学では各自の自覚と責任ある行動を前提とした「自由の学風」が重んじられています。「法の条文ではなく、その精神を重んじよ」とはよく言われることですが、「条文どころか、法や規則そのものが無くても国の最高学府の一員としての良識があれば十分」なのです。「強制されなくても勉強する」「他人の迷惑を考慮しながら権利を行使する」「学食の野菜を残さず食べる」こういう自覚を持ちながら、京都大学の自由を満喫して頂きたいと思います。

自由の学風2

京大の研究者・教育者達は、アメーバの様に貪欲に自らのそして人類の地平を広げて行きます。数学科出身の英文学者がいます。経済学と工学の博士号を持った人がいます。教育学部出身で力学をやっている人がいます。祇園より鴨川

での魚すくいが好きな 50 代がいます。学習であれ研究であれ趣味であれ、「専門」というラベルに拘らず、果敢に「すべて」に取り組むプロの萬屋（よろずや）集団。自由の学風のもう一つの側面は学際的アプローチです。海外でも“*They are all over the place.*”（何でもできるねえ。）とあきれられるエリート軍団に、あなたも入りませんか。貴金属もたこ焼きも売っている商店街みたいで楽しいよ！

海外と言えば

国際人の養成は京都大学の中心課題の一つです。二週間の海外研修を行う国際交流科目、英語で京大の普通の授業が受けられる国際教育プログラム、京都アメリカ大学コンソーシアムで受けるアメリカの大学の講義、夏休みを利用した海外研修、1年間の交換留学など、国際感覚を磨く様々な機会が提供されています。これらのフレームワークを積極的に利用して頂きたいと思います。日本の大企業のほとんどでは、国内の支社や営業所の数より海外の事業所の数の方が遥かに多いのです。ドイツでは国外経験の無い人間はまともに就職できませんが、日本がそうなるのも時間の問題です。京大は 21 世紀型の日本人を教育します。

英語・英語・英語

海外経験どころか、国内で活躍するにも英語は必須になってきました。「人間は英語をしゃべるものである」が今や世界の常識です。お隣の韓国では英語の運用力が無いとまともな就職ができません。英語は、

- 日本国民全員がかなり高いレベルで必要とするスキルであり、

- できないと勉強・研究・仕事に差し支えるほど大切なツールです。よって、

- 好きでも嫌いでも学ばねばならないのです。しかし、

- かなりのレベルに達しない限り、ツールとしてまるで役に立たないうえ、

- 特に日本人には非常に難しいので、強固な意志が無ければ学べないというヤッカイ者です。京都大学では、と言うより青谷は、効果と効率のあくなき追求で「英語に襲いかかる」（向こうが襲いかかって来る前に）講義を展開しています。そんな話もします。